

事務事業名 地域スポーツ推進補助事業

出力日：令和07年03月18日

キーコード：1133

施 策：	22	スポーツ・レクリエーションの推進	財務コード	01090701-06-602
基本事業：	02	年齢や体力に応じたスポーツの振興	担当部	教育部
基本事業の 成果指標	①スポーツをする機会が充分だと思ふ市民の割合（18歳以上65歳未満） ②スポーツをする機会が充分だと思ふ市民の割合（65歳以上） ③学校の体育以外で、スポーツをしている児童・生徒の割合 ④親子でスポーツをしている市民の割合		担当課	文化・スポーツ振興課
			担当係	スポーツ企画担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	昭和39年度 ～		新規・継続	継続	会計区分		実施計画					
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）									
各校区体育振興会等（10校区）			各校区が主体的に計画して開催されているペタンク大会やグラウンドゴルフ、ウォーキングなどのスポーツレクリエーション事業と毎年10月の「スポーツの日」に開催されている市民体育祭の支援									
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			[補助金交付の流れ] 補助金交付申請書→補助金交付決定通知書→補助金概算請求書 補助金交付→実績報告書									
各校区の体育振興会で市民一人ひとりが、積極的に参加できるスポーツ・レクリエーションの機会が増えるように支援する。			[補助金の算定基礎] 体育振興会補助金：一律6万円（原田小学校区を除く9校区） 市民体育祭補助金：世帯数×50円＋15万円（10校区）									
4. 成果（簡易評価は未記入）												
成果指標名称		単位	04年度 実績	05年度 実績	06年度 当初	07年度 要求	08年度 計画	09年度 計画	目標			
市民体育祭の参加者数		人	1,887	1,987	10,000	10,000			10,000			
各種事業の参加者数		人	1,672	2,175	3,000	3,000			4,000			
5. コスト												
事業費		計	千円	3,189	4,366	4,520	4,540					
		国	千円	0	0	0	0					
		県	千円	0	0	0	0					
		地方債	千円	0	0	0	0					
		その他	千円	0	0	0	0					
一般		千円	3,189	4,366	4,520	4,540						
正職員人工数		人工	0.3	0.3	0.3							
正職員人件費		千円	2,318	2,345	2,407							
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	5,507	6,711	6,927	4,540						
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）												
○あがっている		コロナ禍前の数値には戻っていないが、徐々に増加しているため、引き続き各種事業に取り組んでいく。										
●どちらかといえばあがっている												
○あがっていない（停滞・低下）												
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）												
対象動向	維持	類似事業	なし									
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし									
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし									
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし									
成果向上余地	大きい											
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				■改善方向性					●維持	○見直し	○廃止	○事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）												
参加者数については、コロナ禍前に戻る予想があるが、定着した「新たな生活様式」に対応した事業の開催方法について、各校区スポーツ（体育）振興会の意見交換の場などを設け、体育祭にこだわらないスポーツイベントの実施を検討していく。												
■事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				■備考・特記事項 or 進行管理欄								
市民体育祭補助金については、昭和39年度から開始し、各校区の体育振興会補助金については、昭和57年度に山家小学校区体育振興会が発足したことを受けて、昭和58年度から開始した。				令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための、市民体育祭、各校区の事業が中止となった。								